

4~6年

体験活動を自己選択していく

『やってみよう、ボランティア』の実践

札幌市立北野平小学校 横藤 雅人

◆単元のポイント

○共生の心を

これから時代は、少子化、高齢化がますます進みます。また、諸外国との交流もますます盛んになっていくことでしょう。共生の思想と技術が求められます。まず、この単元では、子供たちの心情に訴えかけることが大切と考えました。

○まず掘り起こし

そこで、まず、子供たちの体験を掘り起こすところから学習を始めました。体の不自由な方とふれ合った体験、見た体験、困った体験等、またテレビ等でボランティア活動を見た知識等も話し合いに載せました。子供たちは、生き生きと体験や知識を話しました。そこから、活動の計画を立てていきます。

○計画は具体的に、柔軟に

子供たちからは、学習したいことがたくさん出されました。例えば手話を学びたいという要望が出されたら、「どのように学びますか?」と具体的な活動までを考えさせるようにします。また、ボランティア活動は相手のある活動なので、あくまでも計画は柔軟に変えていくという構えで立てます。



◆単元の目標

○調べてみたいことをはっきりさせ、調べる方法やまとめる方法を工夫して取り組もうとする。また、積極的に体験活動に参加する。

(関心・意欲・態度)

○いつも相手の立場に立って、考えようとする。 (思考・判断・表現)

○さまざまなボランティア活動に込められた共生への願いに気付き、さらに自分から動こうとする。

(気付き)

◆単元の構想（60分×14回）~~~~~

1	学習計画を立てよう
2～4	手話を学ぼう ～手話ニュースを見てみよう、手話で歌を歌おう、自己紹介ができるようになろう
5～8	点字を学ぼう ～本やインターネットで点字のことを調べよう、自分の名前を点字で書いてみよう、点字ペンでお手紙を書いてみよう
9	車椅子体験をしよう ～特養老人ホームの方に車椅子介護の基本を教えてもらおう、車椅子で校舎内を歩いてみよう（段差体験、坂道体験等）
10～12	盲導犬と歩こう ～アイマスクで校舎内を歩いてみよう、パピーウォーカー、繁殖犬ウォーカー、ユーザーの方の話を聞こう、盲導犬と体験歩行をしよう
13～14	老人ホームに行って、お年寄りとふれ合おう ～どんなことをしようか計画を立てよう、お手紙を書こう (地域の2つの園に、半分ずつグループ分けして訪問する。)

◆実践するにあたって~~~~~

この実践は、学年も混ぜた自己選択型の総合的な学習です。

まず、話し合いを重視し、どんな思いでこの活動を選んだのかを、交流しました。「人の役に立ちたい」という思いが共通であることを確認し、そこから、子供たちの思いや願いが自然に広がる計画を立てることを考えました。また、子供たちの願いに応える資料探しや外部との連携がとても大切です。手話の資料は、ほとんど子供たちが自分たちで探せました。他は、子供たちと教師との協力で、用意しました。また、お願いやお礼の手紙を書くことも計画の中に入れておきたいものです。